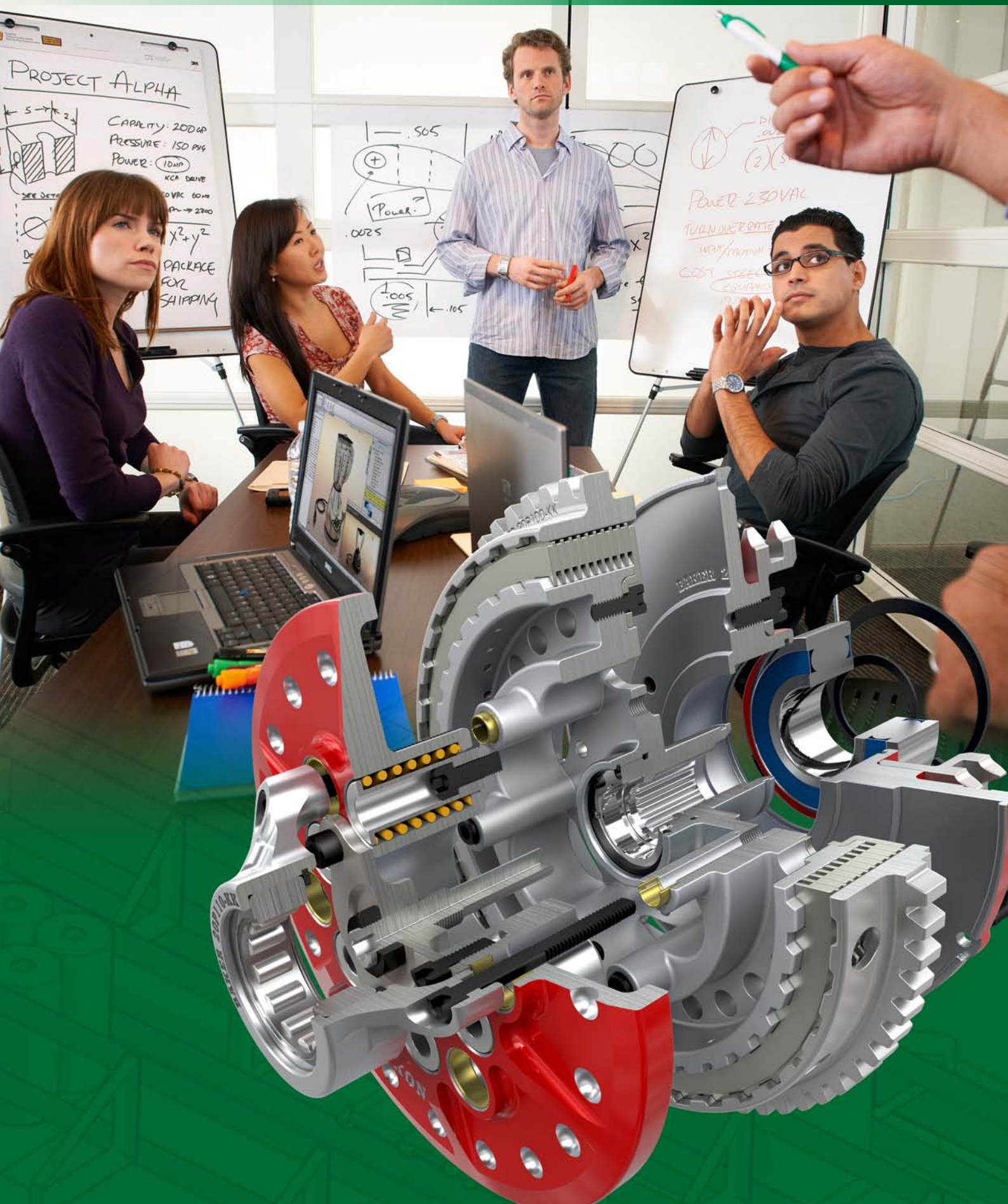
SOLIDWORKS

SolidWorks

機能詳細カタログ

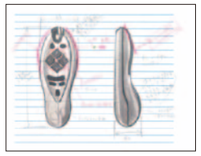


SolidWorksは最新で最高の設計環境をトータルに提供し、日本のものづくりを支援します。

企画・デザイン

自由に発想を拡げ、スムーズに開発へ移行

発想の可視化、より多くのプランの検討がデザイン性に優れた製品の設計につながります。


手書き検討を取り込み

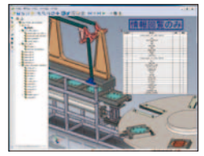
形状イメージを確認

CGを提案資料へ活用

3次元データによる情報共有

変化するニーズ、新しい挑戦へ迅速かつ柔軟に対応

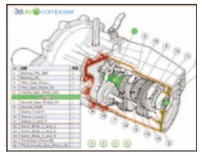
打ち合わせ回数の削減、コミュニケーションの円滑化と品質向上で新たなチームワークが生まれます。

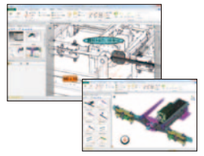

モデルと図面をメールで共有

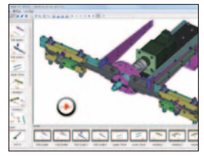
製造・販売・保守 P.10

設計・開発に留まらない、関連業務の負荷軽減・コストダウンへ

3次元設計データを基に、高品質な文書やわかりやすいアニメーションを作成し、市場投入期間の短縮が可能です。


パーツリストを作成


仕様書や指示書を作成・配布


アニメーションを簡単に出力

3次元データによる情報共有・コミュニケーション

企画・デザイン

構想設計 → 設計検証

詳細設計 → 設計検証

生産設計 → 設計検証

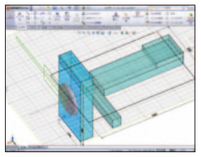
設計・開発

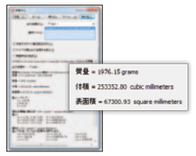
製造・販売・保守

製品データ管理

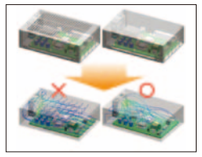
構想設計 P.4〜P.5

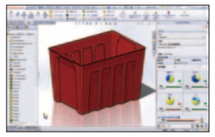
開発の重要要件を構想設計の段階で検証し、手戻りを徹底的に排除


3Dと2Dの混在設計を実現



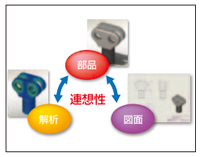
重心・質量・体積を確認


設計案を比較検討

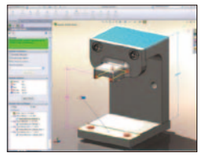

生産要件・環境要件を検証

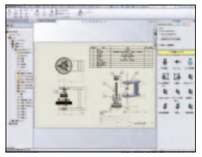
詳細設計 P.6〜P.7

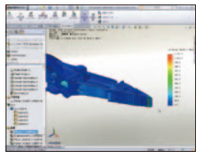
製品の機能・性能の向上、コストダウンを多方面から追求

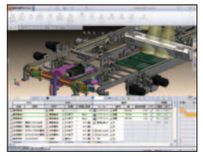


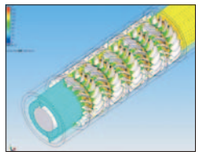
設計資産の完全な連想性


組立性を検討


図面を作成

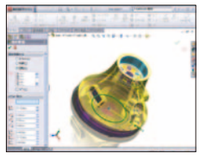

強度・安全性を検討

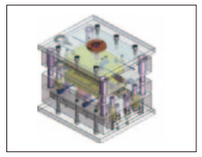

機構や動作を検証

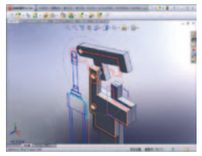

製品を高機能化

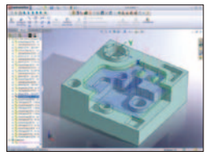
生産設計 P.8

生産関連の各種設計作業を効率化しリードタイムを圧縮


インポートデータを編集


金型を作成


治工具を作成


パートナー製品と連携

製品データ管理 P.9

データ資産活用、協同作業、コンカレントエンジニアリングを強化

大切な3次元資産を失くさずに管理し、最大限に生かします。多品種製品の設計・製造に向けて標準化部品の利用を促進するなど、生産性向上に寄与します。

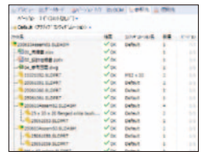
検索・データの再利用

リビジョン管理を徹底

ワークフローを管理

分散環境で作業

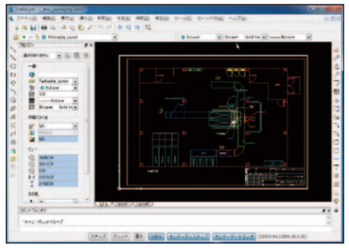
BOMを作成・共有


参照先・使用先を管理

構想設計

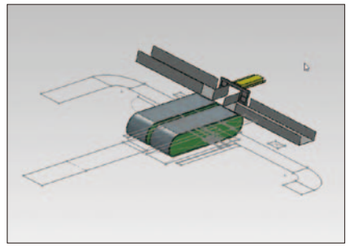
要件を満たす、手戻りの無い検討

1.初期検討の準備　過去の設計資産も活用し、設計をクイックスタートできます。



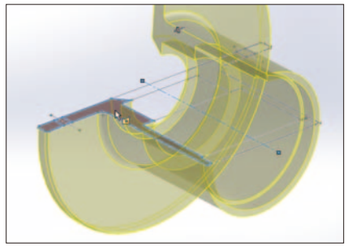
2次元の資産を有効活用するDraftSight。

無償2次元CADのDraftSightはDXFやDWG形式のファイルを直接編集することができます。過去の2次元資産のメンテナンスや新規設計への流用に活躍します。



レイアウトに合わせた
3次元ユニットモデルの配置。

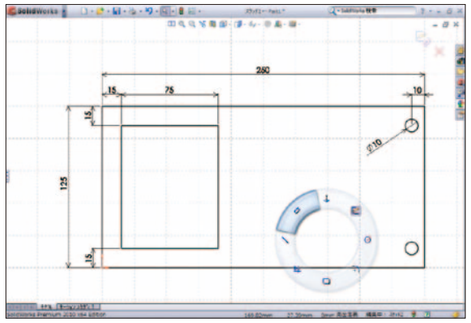
流用する箇所には、あらかじめ登録した既存の3次元ユニットを利用し、ドラッグ&ドロップ操作ですばやく合致させ、短時間で作業を終了できます。



輪郭選択ツールから、すばやく3次元化。

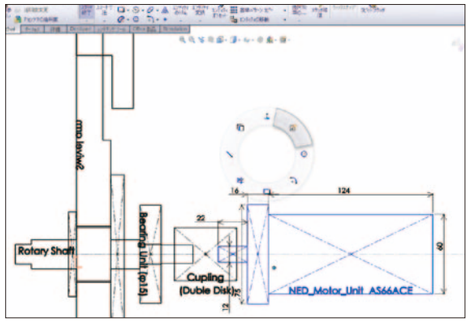
SolidWorks では一筆書きで完結していないスケッチでも3次元化する形状をわかりやすく選択することができ、3次元の立体をより素早く作成できます。

2.全体レイアウトの構想　軽快なスケッチワークと便利なアシスト機能が効果的です。



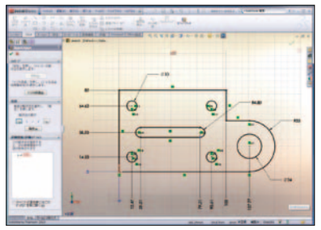
「作業」を最短の時間で完了するために、
徹底的に効率化されたスケッチ。

世界で最も活用されているSolidWorksは、2次元で検討するための効率的な機能も実装しています。SolidWorksはマウスのクリック数、移動量まで考慮に入れた開発を重ねており、マウスジェスチャーなどの最新機能も活用することができます。



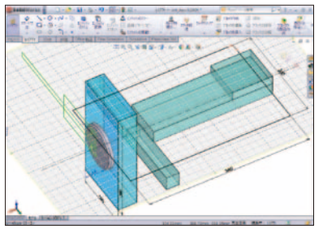
2次元検討に欠かすことのできないスケッチのブロック化。

構想設計では、直線や円をグループ化しながら作業を進めます。SolidWorksのブロック機能を活用することで、スケッチの複数要素を1つの部品のように扱うことができます。既存の2次元CADデータからも作成できるので、過去の設計資産は無駄になりません。



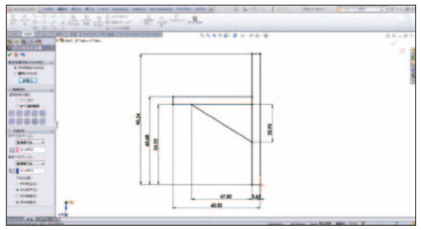
スケッチで困ったときのSketchXpert。

スケッチや寸法の矛盾によるエラーが発生した場合、SolidWorksから提示される解決案を元に、素早く修正することができます。



奥行方向がすぐに確認できるレイアウト。

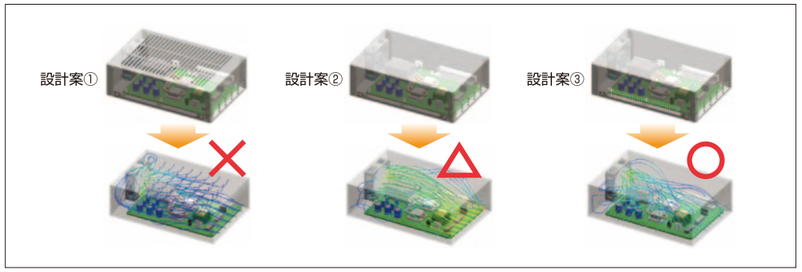
検討に使用した2次元のスケッチから、3次元形状を作成し、2次元CADだけでは不可能な奥行方向も検討することができます。



寸法の一括挿入を標準機能で。

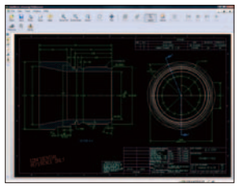
基準からの寸法一括挿入を、SolidWorksは標準機能として活用することができます。

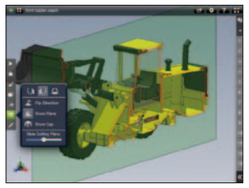
3.設計案のチーム検討　設計者以外の関係者を含めてプランをいつでも検討できます。



どの設計案が最適？

製品の仕様を決定する際に必要な情報は、設計する製品によって異なります。SolidWorksでは豊富な解析機能を使用して、製品構造の仕様決めに必要となる情報をすばやく取得することができます。例えば、構造物の強度や振動対策、熱対策などに必要な情報を仕様決めの段階で検討することで、設計の手戻りや試作回数を大幅に削減することが可能です。

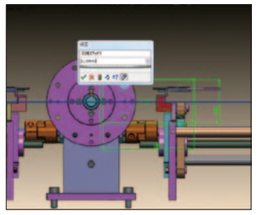


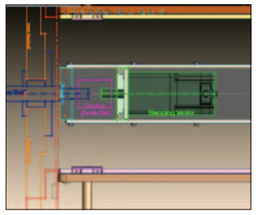


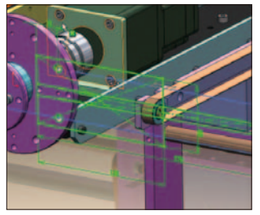
コミュニケーションミスを
劇的に削減するeDrawings。

eDrawings はDXFやDWGなどの過去の2次元資産はもちろん、SolidWorksのネイティブデータや高圧縮したeDrawingsデータを自由に閲覧できる無償のビューアです。単なる形状の確認だけでなく、測定や解析結果を組み込んで共有することも自由自在です。また、iPad上でも断面、測定マークアップが可能になり、SolidWorks資産の利用価値がさらに高くなりました。

4.重要機能部の構想　製品が思い通りに機能するよう、多角的に検討できます。

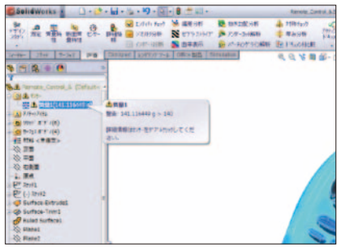






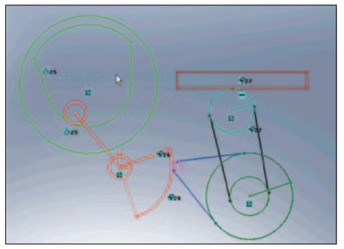
3次元立上げ期間とコストを極小化する、
2次元と3次元の混在設計。

SolidWorksでは必要な2次元設計ノウハウをいかし、さらに3次元設計を混在させて検討することができます。2次元と3次元の混在環境を活用することで、限られた時間の中で設計意図が適正かどうかを判断することができます。



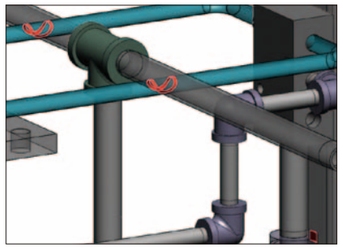
あなたの隠れた秘書、センサー。

干渉、強度、コストなどによる検討のやり直しは、誰もが一度は経験します。SolidWorksは設計データを監視し、あらかじめ設定した制限値を超えると通知します。



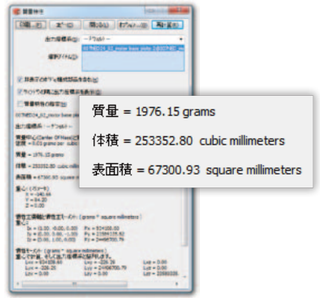
重要な機構ほど、早い段階から検討。

スケッチ要素に駆動条件を定義すれば、製品の性能を左右するカム・ギア等の機構をあらかじめスケッチの状態で確認でき、後工程での設計変更を防げます。



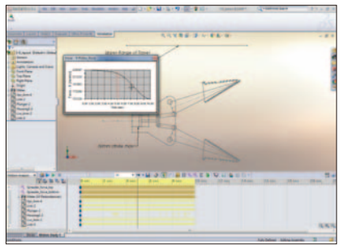
ムダな手戻りをなくす干渉チェック。

部品同士の干渉で試作が無駄にならないように、SolidWorksでは静的・動的な干渉チェックがいつでも可能。さらには部品と部品の最短距離を考慮したクリアランスも検討できます。



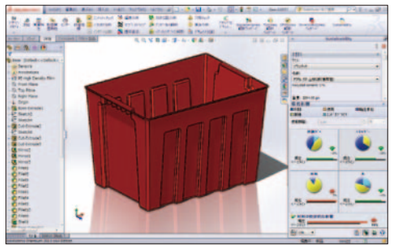
質量・体積・表面積・重心を1クリックで。

作成された3次元モデルは質量や体積といった情報を持ちます。アセンブリの重心位置や慣性モーメントの値なども、1クリックで確認することができます。



2次元での機構検討と応力の確認。

SolidWorks Motionはスケッチの機構でも活用することができます。3次元のモデルを詳しく作成する前に、重要機構部にかかる力を検討することができます。

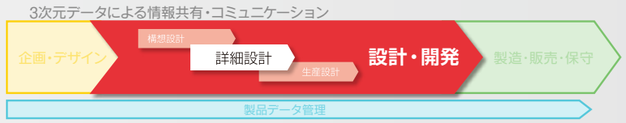


環境対応とコスト管理を同時に実現する
Sustainability。

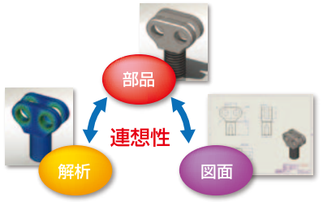
SolidWorks Sustainabilityでは、材料／塗料の種類や使用量から環境要件への適合度と製造コストを計算し、早い段階から設計を検証。結果のレポートも作成できます。

詳細設計

品質・性能の詰めを支援

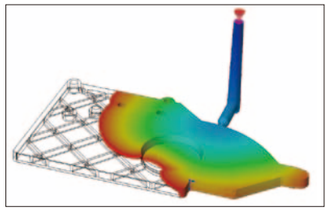


1.形状作成と設計検証　製品化に不可欠な細部の設計や検討が手早く進められます。



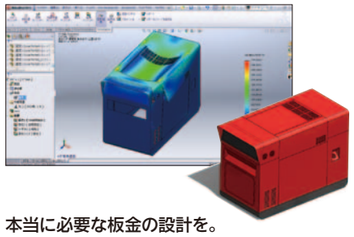
モデルの完全な連想性。

SolidWorksでは作成した全データに完全な連想性が約束されているため、3次元モデリング／図面作成／検証を短時間で繰り返し行い、納期短縮と品質向上を図ることができます。



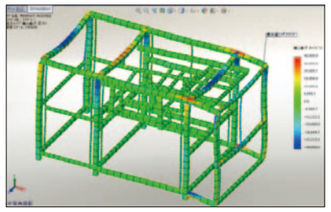
プラスチック部品の射出成形を事前検証。

SolidWorks Plasticsでは射出成形をシミュレートし、生産工程を視野に入れてあらかじめ板圧やボス、ランナーの設計を最適化します。設計の手戻りを減らし、金型の試作にかかる時間やコストが節約できます。



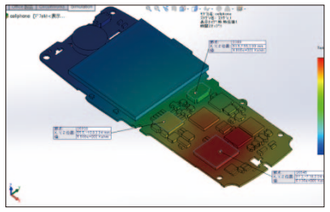
本当に必要な板金の設計を。

SolidWorksでは設計形状を途中から板金に変更可能。また、板金独特のライブラリやベンド角ごとの展開長などを自社ノウハウに合わせて設定したり、モデルをシェル要素として即座に解析することもできます。



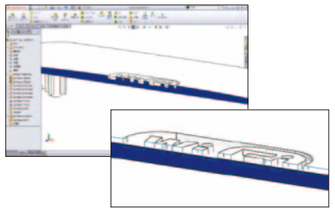
必要な材料の量までわかる溶接機能。

軽量データで必要な溶接長さやコストなどを効率的に検討できます。鋼材のモデルから断面積などを自動計算し、梁要素として解析に利用することも可能です。



CircuitWorksがエレメカ連係を実現。

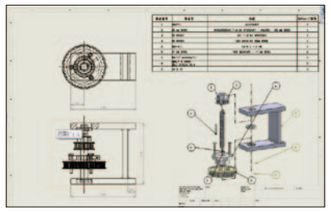
SolidWorksは狭い筐体に高密度の基板を持つ設計も得意です。電気CADのPCBデータをインポートし、熱の問題を防ぐための検証などを繰り返し行えます。



交差によって複雑なジオメトリを簡単作成。

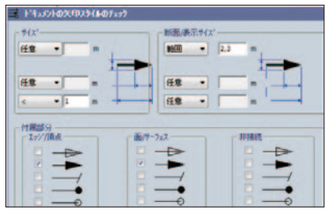
交差ツールを使ってソリッドやサーフェス、平面を既存のジオメトリに交差させ、形状の複雑なジオメトリでも手早く作成できます。

2.図面作成　製造に必要な図面・部品表などの作成をスピードアップします。



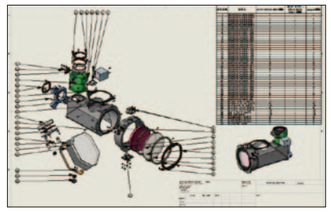
必要十分、そして想像以上の図面作成機能。

3次元データから三面図、寸法、注記などを素早く配置し、複数寸法を一括で作成。設計変更などによる修正は図面へ自動的に反映されます。部品表などの書類も正確に作成できます。



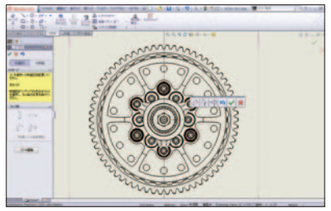
Design Checkerで検図作業を省力化。

設定した規格に図面が準拠しているかチェックします。Design Checkerを活用することで、社内標準に沿って図面が仕上がっているかどうかの検図プロセスを、さらにスムーズにできます。



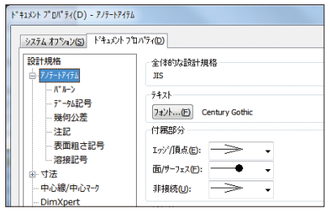
自動バルーン、マグネットライン、部品表。

バルーンや部品表を少ないステップで簡単に挿入できます。さらに、モデルに複数のコンフィギュレーションが存在する場合には、どのバリエーションを部品表に反映するかも管理することができます。



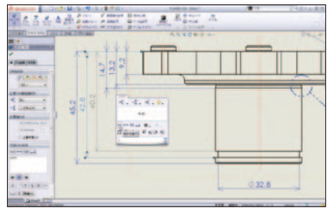
多彩な断面図をインタラクティブに生成。

新しい断面ツールでは、断面線をスケッチする必要はなく、簡単なクリック操作だけで次々と断面図を作成できます。



設計規格（JIS・ISO・ANSI…）。

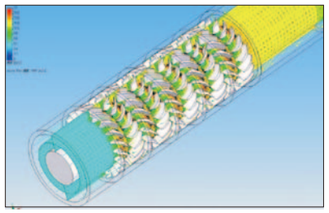
図面の寸法、注記などをJISやISOといった規格に準拠して作成でき、単なる設定のほか各社独自の仕様に沿ったカスタマイズも可能です。



強力な寸法機能

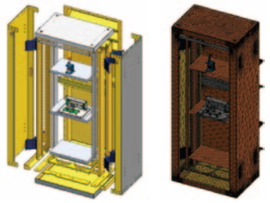
寸法作成は手間がかかる作図作業のひとつ。SolidWorksの寸法機能は単純な寸法追加から、累進寸法や公差寸法に至るまで、最小のクリック数と最短の操作手順で効率的に追加していくことができます。

3.設計検証による高機能化　製品の機能・性能・強度アップへ向け、精緻な設計が可能です。



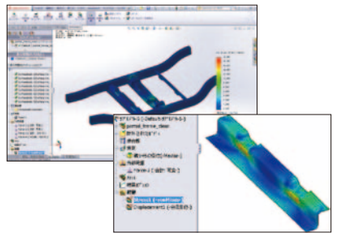
極限の環境にも耐える製品の設計。

SolidWorks Flow Simulationを活用して視覚的に熱流体解析を行い、高温・高圧の環境下でも機能する優れた製品を開発できます。



複雑な構造体の解析。

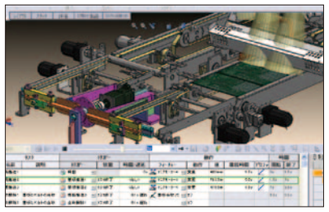
キャビネットやラックなどは構造体を支える梁と壁など、解析しにくい構造体といえますが、SolidWorks Simulationは構造特性ごとにビームやシェルを自動的に使い分け、複雑な構造体の解析を強力にアシストします。



サブモデリング機能でより柔軟かつ高速に解析。

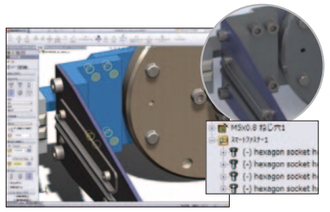
サブモデリング機能を使えば、製品の部分ごとにメッシュを再設定してSimulationを実行できるため、重要な部分の解析精度を上げ、それ以外の解析速度を上げることが可能です。

4.動作・組立性検証　加工・組立ての効率化、歩留まりの向上を追求できます。



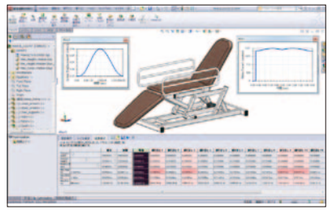
タクトタイム検証。

製造前に動作状態や組立性・加工性を検証することも重要です。SolidWorksでは、複数の機械が連係する複雑な機構のシミュレーションも効率的に行うことができます。動きの再現だけでなく、動作中の干渉箇所や部品の加速度、駆動に必要なモーターのトルクなどを試作前に検討することができます。



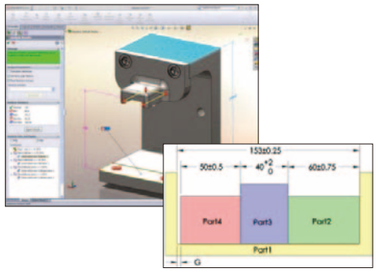
穴ウィザードとスマートファスナー。

穴ウィザードは複数の部品に対してサイズ・種類・位置を設定することができ、適切なサイズのボルトを自動的に配置することができます。ワッシャーやナット等も同様に設置できるので、ボルトの総数やユニットの重量などを正確に検討することができます。



例えば最も電力消費量の低い、最適な機構の設計を。

SolidWorksは機構解析の条件やセンサーに設定した仕様を守りながら設計案の最適化を行うことができます。必要な高さやサイズ制限を守りながら多くの設計案を一括検証できるので、今や機構を持つ設計作業には欠かせません。

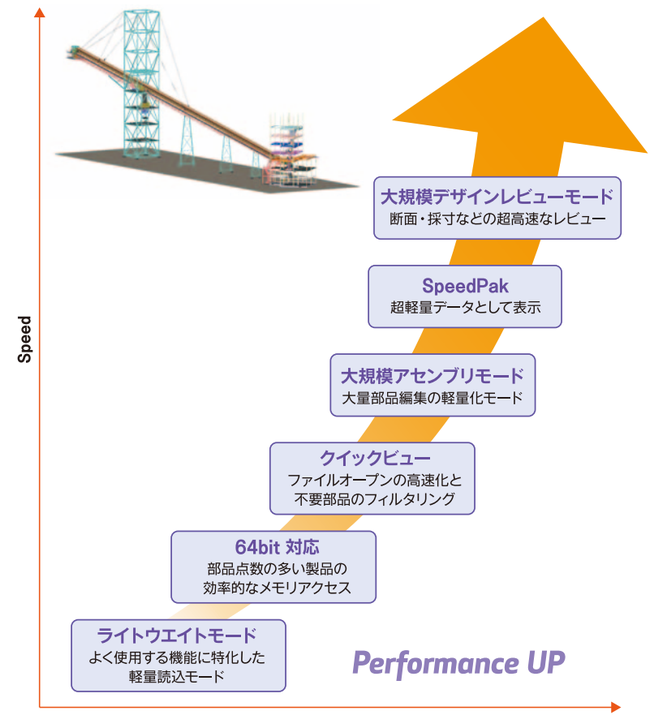


歩留りを見極めるTolAnalyst。

製品の品質向上と加工コストの削減を両立させる適正な公差値を検証します。設計者の限られた時間を効率的に活用するために、影響度の高い公差寸法を優先的にコントロールすることができます。干渉チェックはクリアしたのに実際には干渉してしまった、ということが無いように、はめ合いや機能の要件を満たしながら製造コストを削減することができます。

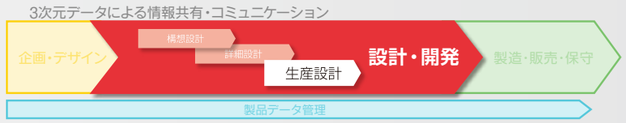
大規模アセンブリ、パフォーマンス改善のこれまで取り組み。

SolidWorksは、高度なモデリングや解析等の幅広い機能を網羅し、時流に沿ったソフトウェアおよびハードウェアに対応し、日々の作業を快適にするための高速化を重ねています。IT投資を最大化するための現実的な3次元設計環境として、SolidWorksは大規模アセンブリも軽快に取り扱うことができ、今後もさらなるパフォーマンスアップを約束します。



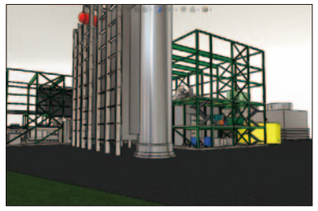
生産設計

生産開始までの時間を短縮



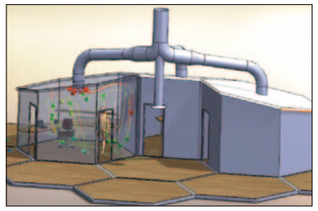
1.生産ラインの検討

SolidWorks上で効率的な生産ラインや配置を検討できます。



ウォークスルー。

3次元モデル内を通り抜けながら移動することができます。プラントや重機などの内部確認やPCB、制御パネル等の複雑な構造を効率的に把握することができます。

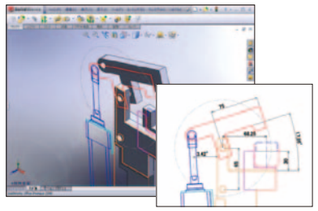


生産ライン・作業場検討。

3次元空間上でロボットアームの稼働域から最適な設備部品の配置を効率よく検討することができます。また、作業場の空調設備の検討には、SolidWorks Flow SimulationのHVACモジュールを活用することで、快適性パラメータを考慮した設計が可能です。

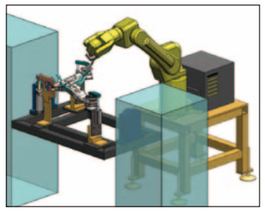
2.治工具設計

3次元設計データを基に各種の治工具を素早く設計できます。



適正な治工具の設計を。

治工具設計では、工作物との差分をとることで、干渉や隙間のない治工具の作成が可能です。また、Simulation機能を活用し、クランプの締め付けの作業性を検証することができます。



ロボットの効率的な動作検討。

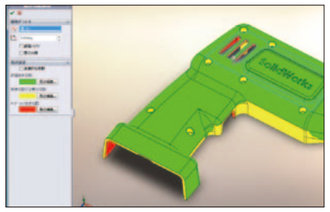
治工具を含めた生産工程が適正に進められるかを検討することができます。ロボットや設備などが干渉しないか、という基本的なことから、イベントベースのタクトタイムまで詳細に検証できます。

3.金型設計

金型メーカーへの発注データもニーズに合わせて作成可能です。

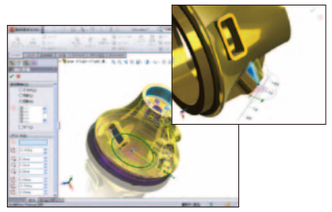
金型設計。

金型設計では、抜き勾配分析・パーティングサーフェスの作成・キャビコア分割といった専用のコマンドが用意されています。モールド部品をライブラリに登録することで金型を効率よく検討することができます。



抜き勾配診断。

製品の抜き勾配を診断し、型を製作することが可能かどうかを検討することができます。

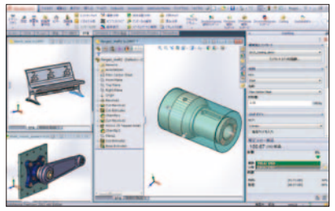


インポートデータの直接編集。

インポートした履歴のないモデルから形状を認識し、押し出し距離やフィレットの値を直接編集することができます。また、中間データや他のCAD のデータを直接インポート／エクスポートする機能を標準搭載しています。

4.加工コスト検討

材料コストだけでなく、加工コストも考慮して設計できます。



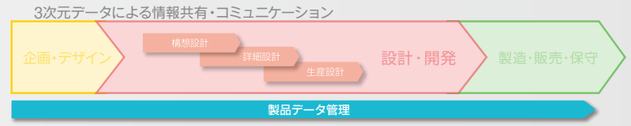
SolidWorks Costingを機能強化。

機械加工、板金加工、旋盤加工といった多くの加工コストを計算することができます。加工コストを意識しながら設計することで、製品開発の予算を考慮した的確な設計を行うことができます。

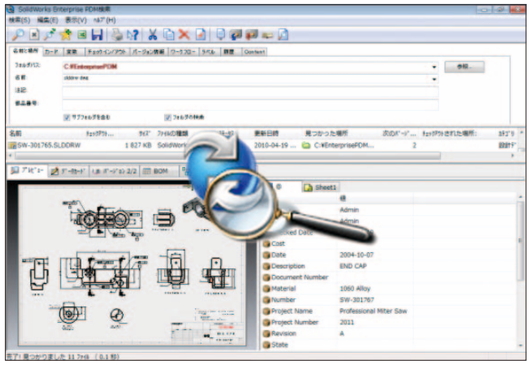
インポート&エクスポート	インポート	エクスポート
• IGES • STEP • Parasolid® • SAT [ACIS®] • Pro/ENGINEER® • DWG / DXF • STL • VDAFS • VRML • TIFF™ • CGR [CATIA® graphics] • Adobe® Illustrator® • Adobe® Photoshop® • ScanTo3D※ • IDF※ ※：SolidWorks Premiumのみ対応	• Unigraphics® • Rhino® • SolidEdge® • Autodesk Inventor® • MDT [Autodesk Mechanical Desktop®] • CADKEY® • DXF 3D	• Adobe® PDF / 3D PDF • JPEG • MTS [Viewpoint®] • HSF [HOOPS®] • HCG [CATIA® highly compressed graphics] • U3D [Universal 3D] • 3D XML • XPS [XML Paper Specification] • eDrawings®

製品データ管理

流用設計やチーム設計を支援

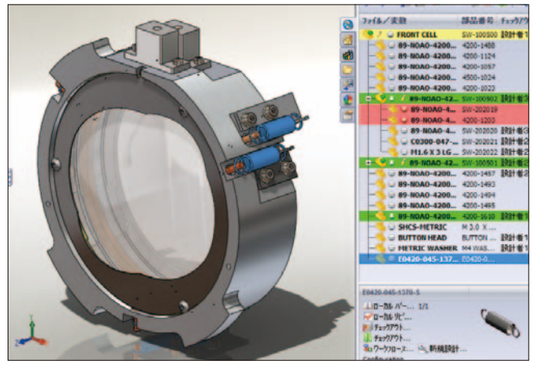


企業の資産となる設計データの共有・再利用、多拠点を結んだ人材のコラボレーションを実現します。



大切な製品データの統合管理とワークフロー管理を実現。

SolidWorks Enterprise PDM では、設計データを統合管理し貴重な資産として迅速に検索・再利用が可能です。徹底的に使いやすさを向上しており、作業の進捗スピードを改善できます。

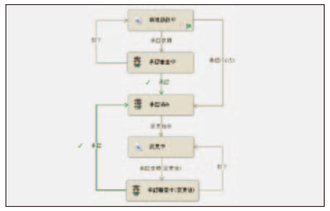


SolidWorks統合環境（Enterprise PDM アドイン）。

Enterprise PDM は、SolidWorks からもアクセス可能です。SolidWorksのタスクパネルでは、チェックイン／チェックアウトやステータス変更、検索だけでなく、各種プロパティやファイル所有者などを表示することができます。 また、通知機能により設計変更もリアルタイムで確認できるので、チーム設計を効率的に行うことができます。

安全なセキュリティ管理。

Enterprise PDMでは、権限を持ったユーザだけが設計データの閲覧、更新、変更を行えるように管理します。設計資産を誤った上書きや削除から守り、安心して共有・再活用できます。



実業務に即したワークフロー管理。

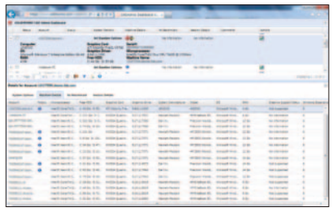
Enterprise PDM にはワークフローの機能があります。適切なユーザが設計を承認し、適切な段階を経て、設計を次の工程に進められます。また、設計変更をメールで自動的に通知することができます。

構成／リビジョン管理。

Enterprise PDM は、部品、アセンブリ、図面、ドキュメント等のすべての参照関係とリビジョンを認識しています。もしも名前が変更されたり、移動されたりしても、参照関係は維持されます。

運用管理

ツールの使いやすさだけでなく、運用のしやすさも向上します。



CAD Admin Dashboard。

SolidWorks CAD Admin Dashboard にアクセスすることで、社内のユーザごとにハードウェアの状態やパフォーマンス、SolidWorksの設定を把握・統合管理し、作業環境の改善につなげることができます。

プッシュインストール／アンインストール。

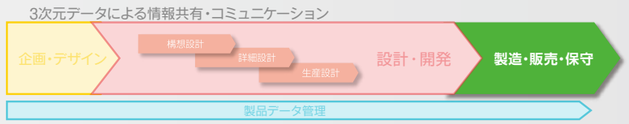
SolidWorksは管理者側からプッシュ方式で各端末へのインストールやアンインストールを制御できます。

相互運用性。

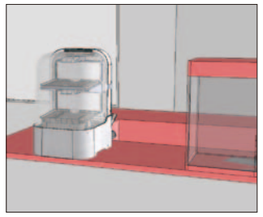
SolidWorks新バージョンのファイルを、1つ前のバージョンのSP5で開くことができます。一時的に異なるバージョンで運用しても、設計情報の欠落を最小限に抑えることができます。

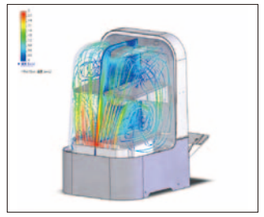
製造・販売・保守

3次元資産を全社で活用

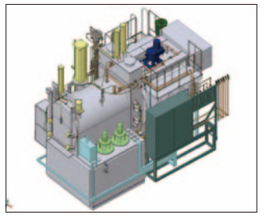


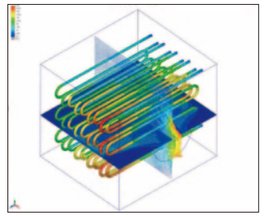
提案資料・購入品手配・見積もり依頼



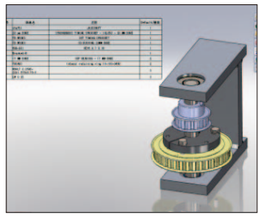


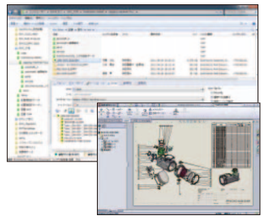
子供から大人まで、幅広い年齢層が来店するコンビニエンスストアに設置する製品では、中に設置される製品がきちんと見え、『おいしそう』と感じてもらえるかなど、目に見えるプレゼンテーションが必要です。SolidWorksのウォークスルー機能を使用して、さまざまな角度からアニメーションを作成することで、営業活動に役立つプレゼンテーション資料を作成することが可能です。





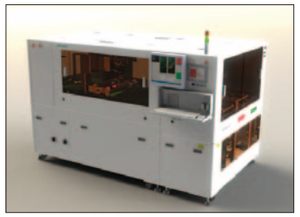
大型の産業機械では試作はもちろん、新製品の外形も顧客に説明することが困難です。SolidWorksの仮想試作環境を利用することで、製品イメージや複数の大型機械を納入する際のスペース確保などを誰にでも、わかりやすく伝えることが可能です。また製品の品質を顧客に説明するために、SolidWorks Simulationの解析結果を利用し、顧客の信頼を得て受注に結びつけることができます。

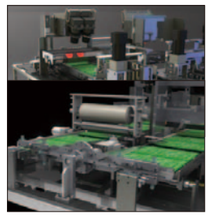




ミスを徹底的に排除する部品表の作成機能。

設計で作成される部品表は、部品調達や製造、組立、加工、保守のために欠かせない大切な情報です。SolidWorksの部品表は常に最新の情報を保持し、図面だけでなく3次元のアセンブリやPDM上でも活用することができます。

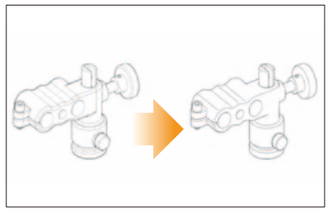




PhotoView 360によるカタログ用レンダリング画像。

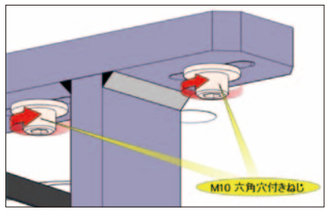
PhotoView 360を使えば3次元設計データをもとに実物に近いCG画像を簡単な操作で作成できます。さらなるクォリティー向上へ向け、最終レンダリングの編集機能も拡張されました。高速レンダリングで社内レビューにも活用することができます。

組立指示書・販売資料・取扱説明書・メンテナンスマニュアル



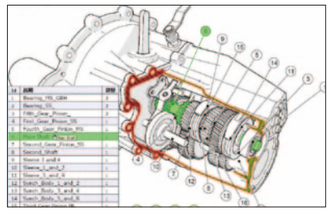
スマートアウトライン。

お客様にご覧頂くわかりやすいデフォルメイメージを、たった1コマンドで作成します。手間のかかる線の追加・削除が不要になりますので、ドキュメント作成の生産性が大幅に向上します。取扱説明書のイラストなどに効果絶大です。



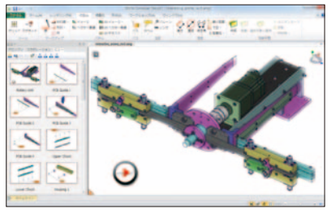
3次元的な注記の配置。

3Dモデル上で矢印やコメントを描き込むことができるので、矛盾なく、とてもわかりやすいイメージをすばやく作成できます。これも、3Dならではのメリットです。



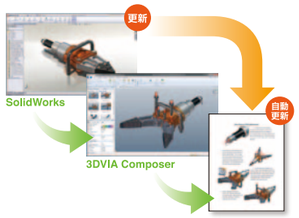
パーツリストの作成。

マニュアルや指示書に使うイラストやBOMは、設計側で作成しているものと同じとは限りません。3DVIA ComposerはCADの情報を使いながら、見やすくてわかりやすいパーツリストを作成することができます。



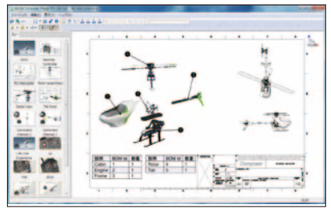
見てすぐにわかる組立アニメーションを簡単な操作で。

3DVIA Composerでは、組み立てアニメーションも簡単に作成することができます。CADのCG機能では難しい多彩な表現を持ち、グローバル展開において翻訳作業などのコストの削減にも役立てることができます。



CADの設計変更を反映。

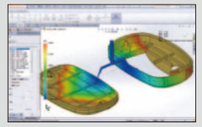
ドキュメント作成後に発生した設計変更に対しても1コマンドでドキュメントを最新の状態に自動更新します。



無償の3DVIA Composer Player。

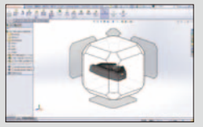
3DVIA Composer Playerは誰でも無償で利用することができます。初めて3DVIA Composerのコンテンツを展開するときなどには、ネイティブファイルに3DVIA Composer Playerをまとめてexe化し、共有することも可能です。

SolidWorks 2013 最新機能 TOP 10



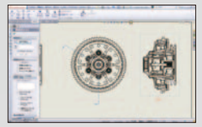
SolidWorks Plastics。

プラスチック部品の成形に関する検証機能を提供。設計の初期段階から、樹脂の充填、ウェルドライン、ショートショット、エアトラップなどの考慮が可能となり、金型設計や樹脂成形に関する手戻りを減らします。



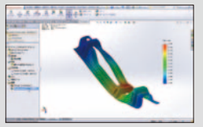
操作性の向上。

寸法追加オプションや表示方向の選択など便利な機能が強化され、さらには部品やアセンブリの重心位置を個別に参照ジオメトリとして画面に表示させる機能も追加されており、モデリング作業を一層効率化できます。



断面図の機能強化。

インタラクティブな断面ビューの機能を使って、断面線をスケッチせずに簡単な操作で断面図や整列した断面図、片側断面図などを作成できます。

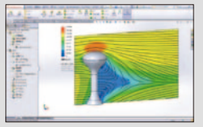


Simulationのサブモデリング。

サブモデリング機能を使えば、Simulationをモデル全体で再実行するのではなく、必要な部分だけを指定して解析できるため、計算時間の短縮、重要な部分に集中した精度の高い解析が可能になります。

干渉認識。

選択した構成部品を干渉認識の対象から除外して、スムーズに干渉チェックを実行できます。また仕様が一致しないねじ山、他のジオメトリと干渉するねじ山などを干渉チェックの結果でフィルタリングできます。



SolidWorks Flow Simulation。

熱流体の検証を行うSolidWorks Flow Simulationが機能拡張され、複雑なジオメトリの周辺で起こる気流を視覚化することも可能になりました。製品の冷却性能の検証などに効果を発揮します。

Costingの機能強化。

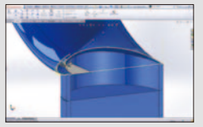
Costingツールでは、マルチボディーがサポートされ、加工方法や材料コスト、加工コストを加味しながら個々の部品のコスト、組立後の全体の製品コストを柔軟に算出できます。

寸法パターンの編集。

フィーチャー パターン内の一連のインスタンスについて、柔軟にサイズや位置を変更しながら、簡単に繰り返しパターンを作成することができます。

前リリースとの相互運用性。

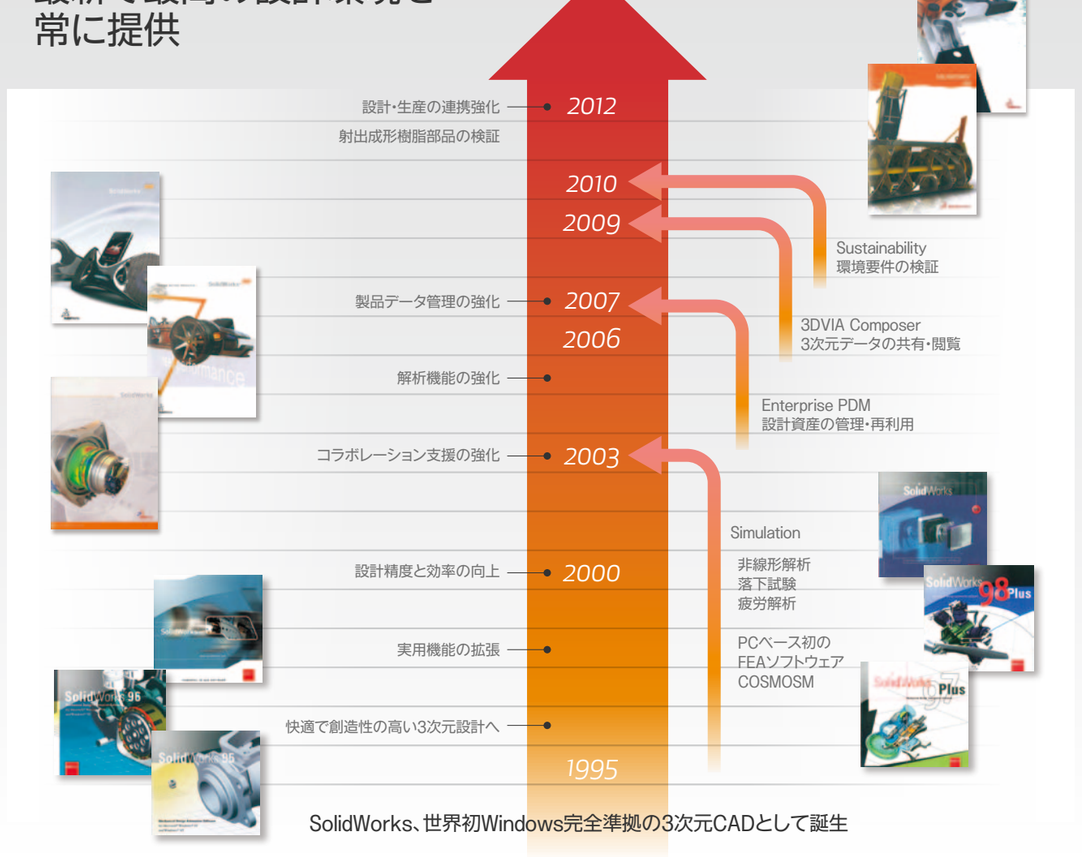
SolidWorks 2013の部品やアセンブリは、SolidWorks 2012 Service Pack 5を使用して読み取りモードで開くことができます。今後はこのように新しいデータを以前のリリースでも表示できる相互運用性が確保されます。



円錐カーブ。

円錐カーブを使えば、端点とRho 値を指定しながら既存のジオメトリに正接する円錐カーブをスケッチでき、望みの曲面が簡単に作成可能です。

最新で最高の設計環境を常に提供



機能	ツール名	製品名		
3次元設計・製品設計・図面作成・コミュニケーション機能		SolidWorks Standard	SolidWorks Professional	SolidWorks Premium
CADソフトウェア基本機能		✓	✓	✓
デザインコミュニケーション	SolidWorks eDrawings Professional		✓	✓
加工コスト検証	SolidWorks Costing		✓	✓
インポートモデルの自動フィーチャ認識	FeatureWorks		✓	✓
標準部品ライブラリ	SolidWorks Toolbox		✓	✓
フォトリアリスティックレンダリング	PhotoView 360		✓	✓
タスクスケジューラー	SolidWorks タスクスケジューラー		✓	✓
ルーティング（配管・ハーネス・チューブ）	SolidWorks Routing			✓
電気系CADと機械系CADの連携	CircuitWorks			✓
部品の簡易静解析（ソリッド要素・パートのみ）	SolidWorks SimulationXpress	✓	✓	✓
流体簡易解析	SolidWorks FloXpress	✓	✓	✓
持続可能性の簡易検証	SolidWorks SustainabilityXpress	✓	✓	✓
公差スタックアップ解析	TolAnalyst			✓
線形静解析（ビーム・シェル・ソリッド要素、アセンブリのサポート）	SolidWorks Simulation			✓
モーションシミュレーション	SolidWorks Motion			✓

SolidWorks CAD 製品

設計検証・解析機能			SolidWorks Simulation	SolidWorks Simulation Professional	SolidWorks Simulation Premium
SolidWorks Premiumの解析機能			✓	✓	✓
イベントベースのモーションシミュレーション	SolidWorks Simulation Professional 拡張機能	SolidWorks Simulation Premium 拡張機能		✓	✓
モーション最適化・形状最適化				✓	✓
解析結果形状の出力・2D簡略化・サブモデリング				✓	✓
固有振動解析・伝熱解析（定常・非定常）				✓	✓
落下試験・疲労解析・座屈解析				✓	✓
線形動解析、非線形解析、積層材解析					✓

熱流体解析機能		SolidWorks Flow Simulation
熱流体解析機能	SolidWorks Flow Simulation	✓
空調機器オプション	HVACモジュール	✓※1
電子機器オプション	エレクトロニクスモジュール	✓※1

SolidWorks Simulation 製品

樹脂流動解析機能	SolidWorks Plastics Professional	SolidWorks Plastics Premium
サーフェス・ソリッドメッシュ・充填	✓	✓
ウェルドライン・ショートショット・エアトラップ・マルチゲート	✓	✓
マルチキャビティ・ランナー最適化・冷却時間・ヒケ&ヒケマーク・インサート成形・オーバーモールド		✓
ガスアシスト&バルブゲート・コインジェクション・ファイバー&複屈折		✓

持続可能性の検証機能	SolidWorks Sustainability
持続可能性の検証・代替材料検索・レポート出力	✓

製品データ管理機能	SolidWorks Enterprise PDM
3次元設計データ・図面・文書管理・チーム設計・ドキュメントのプレビュー・部品表（BOM）・参照先・使用先・設計データの検索・ワークフロー・リビジョン管理・コンフィギュレーション管理・マルチボルト	✓

テクニカルコミュニケーション機能	3DVIA Composer	3DVIA Sync Enterprise	3DVIA Composer Player Pro
技術資料・製品資料・3Dアニメーション・テクニカルイラスト作成	✓		
3次元CADデータインポート（SolidWorks、CATIAなど）	✓	✓	
手動設定による一括処理・分散ファイル生成・コマンドベースのバッチ処理		✓	
ファイルの閲覧と再保存・ActiveXコントロール	✓		✓
静的/動的干渉チェック	✓※1		
パス検証	✓※1		

3DVIA 製品

DWGファイル対応の無償CADソフトウェア	DraftSight Premium Pack
有償サポート、APIアクセス、ネットワークライセンス	✓※2

※1：アドオン製品（有償）、※2：DraftSightのスタンドアロンライセンスは無償で使用でき、有償にてPremium Packを利用することができます。

SolidWorks導入に関するご質問・お問い合わせはこちらから

http://www.solidworks.co.jp/

SolidWorksは（米）DS SolidWorks 社の登録商標です。また、それ以外に記載されている会社名及び商品名も各社の商標または登録商標です。このドキュメントに含まれる情報は、予告なく変更されることがあります。

VEGETABLE OIL INK

SOLIDWORKS

ソリッドワークス・ジャパン株式会社
〒108-0022 東京都港区海岸 3-18-1 ピアシティ芝浦ビル
TEL：03-5442-4001 FAX：03-5442-6256
E-mail：info@solidworks.co.jp
URL：http://www.solidworks.co.jp/

お問い合わせ

株式会社 大塚商会
http://www.otsuka-shokai.co.jp/
CADプロモーション部 製造プロモーション課 03（3514）7820
営業時間／9:00～17:30（土・日・祝日を除く）
本　社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4
関西支社・中部支社・札幌支店・仙台支店・広島支店・九州支店